

令和3年度アレルギー疾患医療全国拠点病院連絡会議、ウェブ、2022、3.29

令和2年度～令和4年度

厚生労働行政推進調査事業費補助金 免疫アレルギー疾患政策研究事業

「アレルギー疾患の多用性、生活実態を把握するための疫学研究」

# 全国の拠点病院の協力による疫学調査結果の概要報告

富山大学学術研究部医学系小児科

足立雄一

# アレルギー疾患の多用性、生活実態を把握するための疫学研究

---

- ✓ 2015年にアレルギー疾患対策基本法が施行され、国はアレルギー疾患対策を総合的に推進しているところである。2017年のアレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針（基本指針）では、疫学研究によるアレルギー疾患の長期にわたる推移（自然史）の解明等良質なエビデンスの蓄積とそれに基づく定期的な診療・管理ガイドラインの改訂が必要であると示されており、アレルギー疾患の疫学調査は国の施策として非常に重要である。
- ✓ 中略
- ✓ しかしながら、これらの疫学研究は疾患別・年齢別に調査されている事が多く、アレルギー疾患は個々の患者で複数の疾患を合併することから、日本全体でのアレルギー疾患の有病率や年齢によってアレルギー疾患の有病率の推移について、既存の疫学調査では明らかにすることができない。
- ✓ 本研究班では、基本指針に基づき全国で選定されている各都道府県アレルギー疾患医療拠点病院と連携し、その職員・家族を対象とした全年齢層におけるアレルギー疾患の疾患有病率および個々の合併率を明らかにし、現在の我が国におけるアレルギー疾患の現状を把握すると共に、今後同手法にて経時的に評価することで、有病率の推移を評価可能な疫学調査のベースを作成する。

# アレルギー疾患の多用性、生活実態を把握するための疫学研究

---

## ✓ 分担研究者

- 吉田幸一（東京都立小児総合医療センター アレルギー科）
- 福家辰樹（国立成育医療研究センター アレルギー科）
- 福富友馬（国立病院機構相模原病院 臨床研究センター）
- 高橋亮平（国立病院機構相模原病院 小児科）
- 今野 哲（北海道大学 呼吸器内科）
- 後藤 譲（日本医科大学 耳鼻咽喉科）
- 田中暁生（広島大学 皮膚科）
- 手塚純一郎（福岡市立こども病院 アレルギー科・呼吸器科）
- 松崎寛司（国立病院機構福岡病院 小児科）
- 長尾みづほ（国立病院機構三重病院 小児科）
- 中村好一（自治医科大学 公衆衛生学）

## ✓ 研究協力者

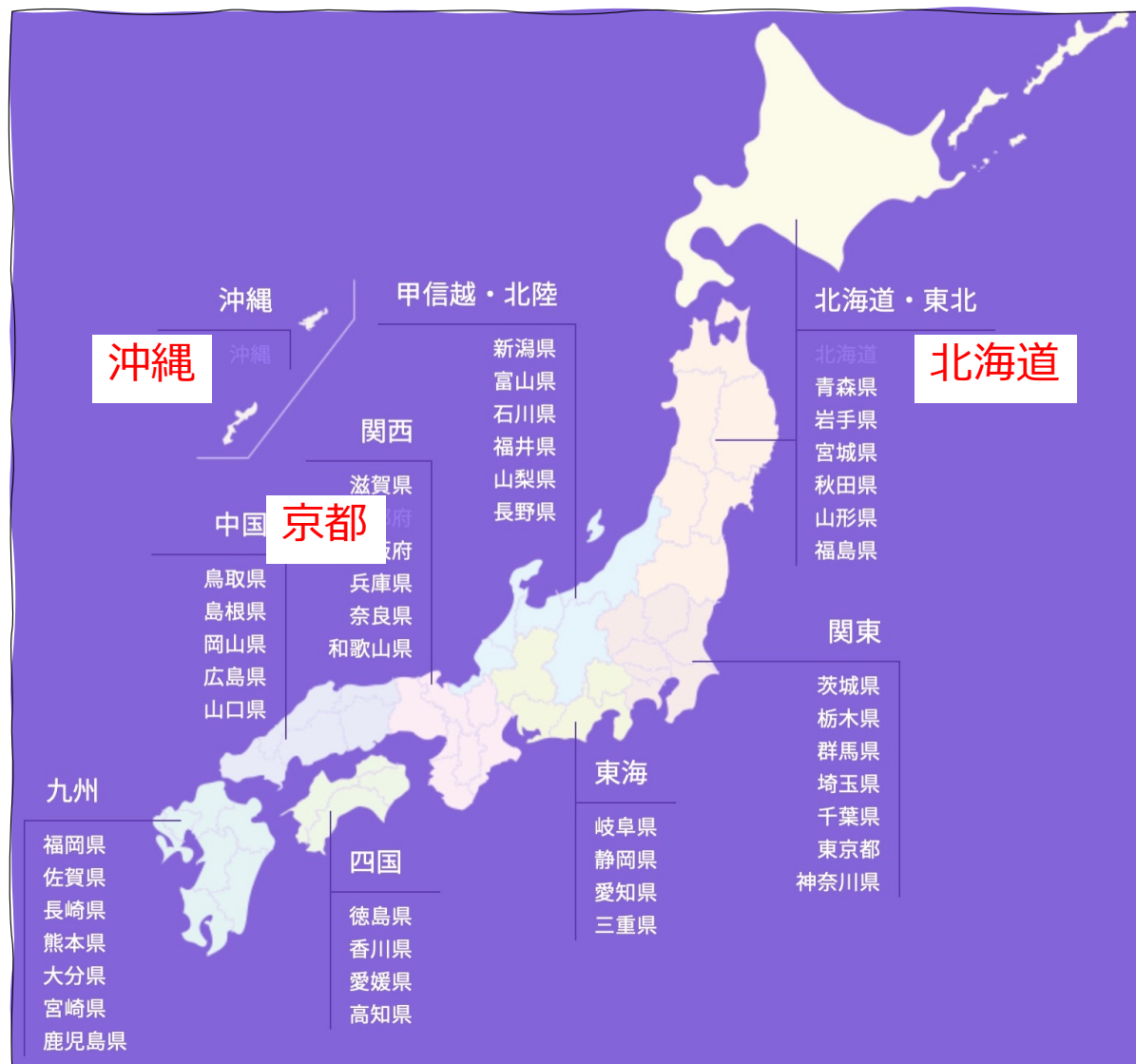
- 伊藤靖典（長野県立こども病院 アレルギー科）
- 加藤泰輔（富山大学 小児科）

## ✓ オブザーバー

- 桑原 優（厚生労働省健康局 がん・疾病対策課）

# 都道府県拠点病院

地域	施設数
北海道・東北	9
関東	11
東海	16
甲信越・北陸	8
関西	13
中国・四国	10
九州・沖縄	7
合計	74



# 調査の概要

## ✓ 調査対象

都道府県アレルギー疾患医療拠点病院に勤務する職員及びその家族

## ✓ 参加施設

41都道府県58病院（別表参照）

## ✓ 調査期間

2021年12月15日～2022年1月29日

## ✓ 調査方法

ウェブアンケート（webcas：株式会社wow world）

## ✓ 調査内容

アレルギー疾患の既往・有病状況

気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎

アレルギー性結膜炎、金属アレルギー、薬剤アレルギー



**アレルギー疾患に関するアンケート調査のお願い**  
～アレルギー疾患の多様性、生活実態を把握するための疫学研究～

**厚生労働省科学研究へのご協力をお願い**  
対象となる病院に勤務されている職員、およびその家族を対象としたアレルギー疾患に関するアンケート調査を実施いたします。  
この調査は、毎年1回行われる予定となっています。

**対象**  
対象病院に勤務する職員、およびその家族（同一世帯）

**調査する内容**  
年齢、性別、アレルギー疾患の有無、これまでにかかったことがあるかどうか（過去の既往）

**アレルギー疾患**  
気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎・結膜炎（花粉症）、金属アレルギー、薬剤アレルギー

**アンケート調査の目的**

**アレルギー疾患の疫学研究の現状**  
アレルギーは赤ちゃんから高齢者まですべてのライフステージにかかわる疾患で、日常生活に支障を生じています。  
平成26年にアレルギー疾患対策基本法が成立し、日本では総合的なアレルギー疾患対策に取り組んでいるところです。  
本研究では、小児から高齢者まで一貫したアレルギーの有病率の調査を行うことで、日本のアレルギー疾患の現状を把握します。

**アレルギー疾患の正しい情報の普及、啓発**  
地域のアレルギー疾患医療の均てん化を目指して、都道府県アレルギー疾患医療拠点病院が、設置されています。  
拠点病院では、地域の重症・難治性アレルギー疾患の治療や一般市民、医療従事者へのアレルギー疾患に関する正しい情報の普及、啓発などをおこなうことが求められています。また、国が行う疫学研究にも協力していただくことも役割となっており、本調査が該当しています。  
本調査の結果は、学会報告や論文作成などで報告させていただくとともに、日本のアレルギー疾患対策の資料として活用させていただきます。

パソコンやスマートフォンで  
約10～15分程度のアンケートです。

アンケートURL <https://www15.webcas.net/form/pub/allergy/survey>

アンケートは、ウラ面に記載されている入力方法を見ながら入力してください。

QRコードから  
参加してください

令和3年度厚生労働省行政推進調査事業  
「アレルギー疾患の多様性、生活実態を把握するための疫学研究」研究班

## ご参加いただいた都道府県アレルギー疾患医療拠点病院等

- + 北海道大学病院
- 弘前大学医学部附属病院
- 岩手医科大学附属病院
- 国立病院機構盛岡医療センター
- 東北大学病院
- 宮城県立こども病院
- 秋田大学医学部附属病院
- 中通総合病院
- 山形大学医学部附属病院
- 福島県立医科大学附属病院
- 筑波大学附属病院
- 獨協医科大学病院
- 群馬大学医学部附属病院
- 埼玉医科大学病院
- 千葉大学医学部附属病院
- 東京慈恵会医科大学附属病院
- 東京医科歯科大学病院
- 国立成育医療研究センター
- 東京都立総合医療センター
- 神奈川県立こども医療センター
- 横浜市立みなと赤十字病院
- + 国立病院機構相模原病院
- 岐阜大学医学部附属病院
- 国際医療福祉大学熱海病院
- 順天堂大学医学部静岡病院
- 静岡県立総合病院
- 静岡県立こども病院
- 静岡済生会総合病院
- 浜松医科大学附属病院
- 浜松医療センター
- 名古屋大学医学部附属病院
- 名古屋市立大学病院
- 藤田医科大学病院
- 藤田医科大学ばんたね病院
- 愛知医科大学病院
- あいち小児保健医療総合センター
- 国立病院機構三重病院
- 三重大学医学部附属病院
- 新潟大学医歯学総合病院
- 富山県立中央病院
- 富山大学附属病院
- 金沢大学附属病院
- 福井大学医学部附属病院
- 山梨大学医学部附属病院
- 信州大学医学部附属病院
- 長野県立こども病院
- 滋賀医科大学医学部附属病院
- 滋賀県立小児保健医療センター
- 近畿大学病院
- 大阪はびきの医療センター
- 大阪赤十字病院
- 関西医科大学附属病院
- 神戸大学医学部附属病院
- 兵庫医科大学病院
- 神戸市立医療センター中央市民病院
- 兵庫県立こども病院
- 奈良県立医科大学附属病院
- 日本赤十字社和歌山医療センター
- 和歌山県立医科大学附属病院
- 鳥取大学医学部附属病院
- 島根大学医学部附属病院
- 国立病院機構南岡山医療センター
- 岡山大学病院
- 広島大学病院
- 山口大学医学部附属病院
- 徳島大学病院
- 香川大学医学部附属病院
- 愛媛大学医学部附属病院
- 高知大学医学部附属病院
- 国立病院機構福岡病院
- 佐賀大学医学部附属病院
- 長崎大学病院
- 熊本大学病院
- 大分大学医学部附属病院
- 宮崎大学医学部附属病院
- 鹿児島大学病院

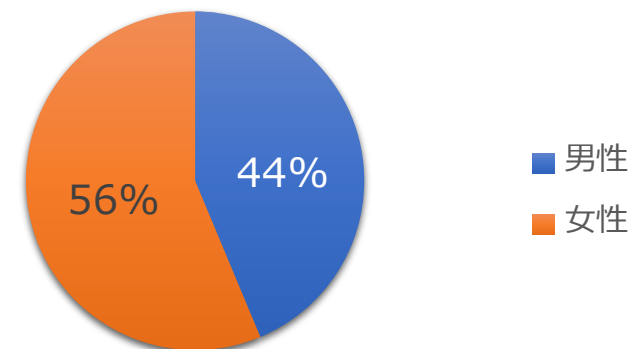
56/74 + 2 = 58施設

# 回答者と解析対象者の詳細 (性別・職種)

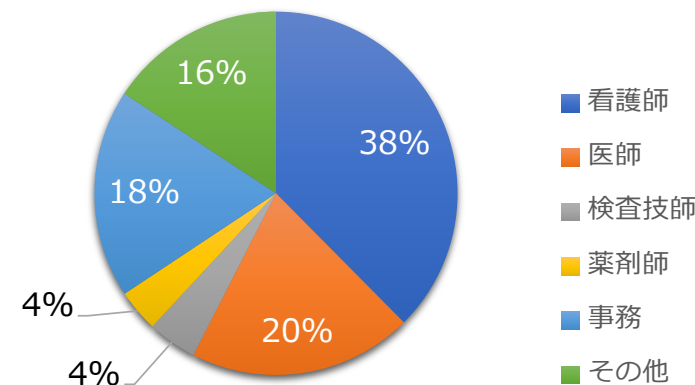
性別	解析対象者全体	回答者
男性	8175	1884
女性	10531	5089
合計	18706	6973
<b>回答率</b>	<b>15.3% (6973 / 45638人)</b>	

職種	回答者
看護師	2620
医師	1391
検査技師	306
薬剤師	263
事務	1295
その他	1098
合計	6973

解析対象者



回答者の職種



# まとめ

- 我が国におけるアレルギー疾患の現状を把握するため、アレルギー疾患医療拠点病院の協力のもと、全年齢層におけるアレルギー疾患に関する全国データを集めることができた。
- 今後、有病率ばかりでなく、地域差、各疾患間の関連、生活習慣など修飾因子との関連などを検討していく。
- このような疫学研究は、経年的な調査が必要となることより、アレルギー疾患医療拠点病院の皆様には引き続き、ご協力をお願いします。